



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年2月22日
5年度第34号

学校評議員会にて、学校への貴重なご意見をいただきました

去る16日(金)、今年度第2回目の学校評議員会を行いました。5名の皆様(松島自治振興会長、前田公民館長、鈴木PTA会長、倉田荻生保育所長、大田主任児童委員)に出席いただきました。ありがとうございました。

★今年度のアクションプランを中心に学校からの報告をしました

徳「やさしく」、知「かしこく」、体「たくましく」3つの重点的な取組についてそれぞれのチームリーダーの教員が資料を基に報告しました。

今年度は、子供たち自身が大切にしたいと思っている項目について全校で取り組み、自己評価する方法をとりました。意識をして取り組んだ分、アン



ケートの数値も高くなりました。

ただ、達成度にはどうしても個人差がありますし、本人と周りからの評価には多少ずれがあります。今後の取組を工夫していく必要があるように思います。

★評議員の皆様との懇談から・・・

やさしく

- ・登下校の途中や朝の挨拶運動でも挨拶の声があると嬉しい。
- ・「ありがとう」を伝え合う取組をこれからも続けてほしい。
- ・6年生のボランティア活動では、進んで挨拶をしてくれる自発性を感じた。

かしこく

- ・時間を守ること、人の話をしっかり聞くことは社会に出ても基本となる事柄なので、しっかり身に付けてほしい。
- ・タブレットの活用等を通して、学習への意欲を高めてほしい。

たくましく

- ・グラウンドで活発に運動している姿をよく見かけている。
- ・子供主体の取組を展開しているのがとてもよいと思う。

徳	重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成	
	達成目標	・気持ちのよい挨拶や望ましい言葉遣いができる子供の割合80%以上	
	最終報告	A	あいさつ(年間自己評価)91.4% ぼかぼか言葉(年間自己評価)93.5%
やさしく	成果と課題	<p>◎校内の至る所で挨拶の声が溢れる学校を目指し、取組を進めた。地域の皆様にご協力いただいた「さわやかあいさつ運動」も年2回(12日)実施できた。どの学年も大きな声で元気の良い挨拶を行うことができた。</p> <p>▲「自分から」「何度も」には課題が残る。引き続き自分も相手も周りの人も気持ちが良いと思える挨拶の仕方を身に付けられるように働きかけたい。</p> <p>◎計画委員会発案で「ぼかぼかポスト」の取組を進めた。また2月には「ぼかぼか家族大作戦」を実施した。学校内、家庭内ともに成果をあげることができた。</p> <p>▲ぼかぼか言葉や言葉遣いへの意識には個人差がある。保護者から「言葉遣いがよくない」といった意見も挙げられている。さらに繰り返し指導していく。</p>	
	知	重点課題	主体的に学び合う子供の育成
かしこく	達成目標	・「友達の話聞く」等、学習規律を守ることのできる子供の割合80%以上	
	最終報告	A	<p>「授業が始まる前に席に着いた」(自己評価) 1学期…86.4%、2学期…93.2%、3学期…集計中</p> <p>「相手を見て静かに話が聞けた」(自己評価) 1学期…95.3%、2学期…94.9%、3学期…集計中</p>
	成果と課題	<p>◎学期に1回「荻子学習がんばりカード」により学習規律について自己評価する期間を設けている。学習規律への意識付けが図られ、着実に変化が表れてきている。</p> <p>▲学年や項目、個人によって数値にばらつきがある。また教師の実感としては数値ほど学習規律が身に付いているとは思えない面もある。今後も学習規律について絶えず意識させていく必要がある。個に応じた支援や指導も必要である。</p>	
体	重点課題	進んで運動する子供の育成	
	達成目標	・進んで体を動かして活動したり運動したりする子供の割合80%以上	
	最終報告	A	とやまゲンキッズ作戦「運動に取り組んでいる」(自己評価) 1学期…93.4% 3学期…93.5%
たくましく	成果と課題	<p>◎毎週木曜日の「わんぱくタイム」に縦割りグループでの運動を行った。ドッジボール、鬼ごっこ、ジャングルジム鬼、鉄棒、大縄跳びや短縄跳び等、各グループで工夫して運動した。6年生が中心となり優しく声をかけ仲良く楽しく運動できた。</p> <p>◎休み時間には外や体育館で元気よく遊ぶ姿が多く見られた。体育器具室を整理したり使用場所を運動別に割り当てたりしたことで、安心して様々な運動に取り組めた。</p> <p>◎体育委員会が「逃走中」や縄跳びの集会等、進んで楽しく運動する機会を企画した。</p> <p>▲運動を好まず教室で過ごすことが多い子供がいる。気軽に体を動かし運動を楽しむことができる活動を今後も工夫していきたい。</p>	

★4月スタートのコミュニティ・スクール(学校運営協議会を活用した学校づくり)に関連する意見交換もできました

- ・「学校評議員会」がより権限のある「学校運営協議会」に移行していくが、「地域と共によりよい学校を創っていく」というのは、これまでも荻生小学校が継続して取り組んできた基本線である。
- ・総合的な学習の内容を整理・充実させ、地域についてよく学び、地域に働きかける児童を育てたい。
- ・荻生小学校には地域の協力体制がしっかりとあるということ、保護者としても十分感じている。
- ・学校と地域相互の情報をよく共有して協力し合い、Win-Winの関係を創っていけるとよい。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

今年度最後のフレンド集会を楽しみました

早いもので、朝のフレンド集会も16日(金)で最終回となりました。縦割りの荻っ子班対抗のゲームを2つ楽しみました。班がー列になってジャンケンで勝負する「ゴー・バック・ヤー」と、『どの班ともかぶらない一番小さい数』を考える「S-1」です。どの班もすっかり仲良しになったメンバー同士、安心してゲームを楽しんでいる様子でした。この1年間、荻っ子班の活動を手探りで考えながらも思い切ってリードしてくれた6年生に心から感謝します。



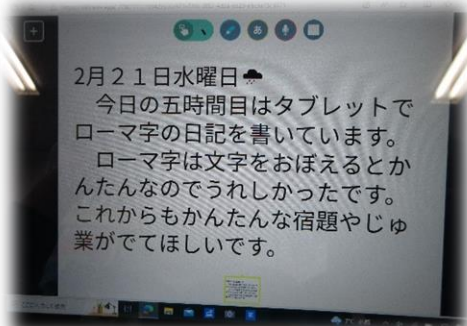
シリーズ「教室におじゃまします」2/21(水)3年国語科の巻

長島先生が「今の時間に何をするか、もう送ってありますよ」と呼びかけます。子供たちもいそいそとタブレットを準備します。ローマ字の学習をしてから、先週末の宿題もタブレットで日記を書いて提出、だったとか…。タブレット内のロイロノートに、各自のデータを提出する「提出箱」があるのです。お互いの日記を自由に読み合うこともできます。

この日の授業内容は①タブレットに「しりとり」を7行以上考えて書くこと。②今日の日記を書くこと。これは国語科としての「ローマ字の学習」であり、情報スキルとして中学年でマスターしたい「ローマ字入力」の内容となっています。

どの子も各自のタブレットに向かって真剣に文字を入力し始めました。手元のローマ字表の紙を見たり、隣の席の友達といっしょに考えたりする子もいました。漢字をうろ覚えだったりきれいな字を書くのが苦手だったりする子も、タブレットなら不安は半減します。また、質問したり教えたりの際にも、手元のノートよりもタブレットの画面の方がお互いのものをのぞき込みやすいというよさがあります。

時間いっぱい夢中で取り組んだ子供たち。「前よりも早く打てるようになった」「だんだんローマ字を覚えてきた」と口口に話し、達成感を味わっていました。



おまけの<ひとこと> 2月は早い！本当に毎日が早く過ぎていきます。今年度の残りわずかな一日一日を大切に味わいながら過ごしていきたいと思います。幸いなことに、3学期になって以来、今のところ学校内に感染症の大きな波は押し寄せていません。全校が集まるフレンド集会も、マスクの着脱は個人の判断に任せた上で行うことができました。毎日、休み時間ともなるとグラウンドや体育館や教室で上級生も下級生も入り交じって仲良く遊んでいるのを見ると嬉しく思います。元気に遊ぶことで体力もつきます。とはいえ油断は禁物。基本的な健康管理を大切に続けながら、心も体も元気に、「明日も学校で会いましょう！」

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。